

AFP資格は、FPとして必要な基礎知識を十分に持ち、相談者に対して常に最新のサービスが提供できる確かなFP技能を持った、日本FP協会が独自に認定する信頼の資格です。AFP資格は認定時に会員倫理規程等の諸規程の順守の誓約が必要で、資格更新においても継続教育が義務付けられています。



AFP認定者の魅力

AFP認定者にはさまざまな魅力があります。

1 FP活動に役立つ情報を入手

会報『FPジャーナル』や会員ホームページ『Myページ』で、最新情報やレポート、各種法令や制度等の改正のポイント、各種データベース・統計データが入手できます。

2 人脈作り・ネットワーク構築

支部活動やスタディ・グループ(SG)への参加で、ほかのFPとの交流による情報取得や意見交換等の機会を得られ、研修やセミナーの参加で最新のFP知識が習得できます。

3 信用と信頼の「AFP資格」を取得

所定の研修を受講し、2年ごとの資格更新が義務付けられているため、新しい情報と知識で最適な提案ができます。さらに、会員倫理規程等順守の約定書の署名を必須としている点も、顧客の視点から信頼度が高いと言えます。

4 自分自身や家族のライフプランに役立つ

AFP認定者として得られる知識や視点は、結婚・出産・子育て・住宅・老後・相続といった、生活者でもある自分自身や家族のライフプランに関しても大いに役に立つものとなります。

5 AFP認定者になることで広がる可能性

金融機関への就職活動や社内におけるステータスの向上だけでなく、FPに関する講師・執筆等の仕事の領域が広がったり、キャリアアップ・キャリアチェンジへつながることもあります。さらなる信用・信頼のために、上級資格であるCFP®認定者へのステップアップも目指せます。



AFP資格更新について

ファイナンシャル・プランナーは、法令・制度等の改正や経済環境が日々変化する中で、顧客に対して常に最新のサービスが提供できるように、継続的に知識や技能の維持・向上に努める必要があります。日本FP協会ではAFP認定者が一時期の知識や技能にとどまらないように継続教育を義務付けており、一定の単位を取得することによって資格の更新をすることができます(資格更新手続きはP14参照)。

資格更新には
2年ごとの継続教育
単位の取得が
必要です。

更新に必要な単位の要件

必要単位数	15 単位以上		イラスト動画で解説 AFP資格の更新要件と手続き	
課目要件	「①FP実務と倫理」1 単位以上を含む3 課目以上			
課目	必須課目 ①FP実務と倫理 ↓ FP実務と倫理 + 選択課目 ②金融資産運用設計 ③不動産運用設計 ④ライフプランニング・ リタイアメントプランニング ⑤リスクと保険 ⑥タックスプランニング ⑦相続・事業承継設計 ↓ 上記②～⑦から 2 課目以上			
継続教育期間	2 年間 ※各自の継続教育期間は、AFPライセンスカード又は会員ホームページ「Myページ」にてご確認ください。 ※認定前に取得した単位は無効です。必ずAFP資格認定後に単位の取得を開始してください。 ※15単位を超えた単位を次の継続教育期間に繰り越すことはできません。			
単位取得の 証明書類	単位取得した証明書類は単位取得日から3年間保管してください。 資格更新にあたって証明書類の提出が必要な場合があります。			

継続教育単位の主な取得方法

継続教育単位を取得するには、以下のようにさまざまな方法があり、組合せて単位を取得することもできます。ご自分にあった継続教育の履修の参考にしてください。

FP ジャーナル 継続教育 テスト

日本FP協会提供のFPジャーナル継続教育テストの合格で取得

日本FP協会では会員向けに継続教育テストの提供を行っています。会報『FPジャーナル』と会員ホームページ『Myページ』にテストを掲載します。いずれも同時に掲載されるFP誌上講座を参照し受験・合格することで単位が取得できます。

費用	990円(税込)
単位数	3 単位
課目	「FP実務と倫理」を含む全課目
単位申請方法	協会にて自動記録

※詳細はP12をご参照ください。



FP実務と 倫理テスト

日本FP協会提供のFP実務と倫理テストの合格で取得

『Myページ』に掲載されているFP実務と倫理Web講座を参照し、「FP実務と倫理テスト」を受験し合格すると、単位が取得できます。

費用	990円(税込)
取得単位数	3 単位
課目	FP実務と倫理
単位申請方法	協会にて自動記録

※詳細はP13をご参照ください。



CFP® 資格審査 試験

CFP®資格審査試験の合格で取得

CFP®資格審査試験の1課目合格につき、合格した課目と同一課目の継続教育単位7.5単位が付与されます。また、全6課目に合格した日をもって、AFP資格更新に必要な継続教育単位(15単位・全課目)が付与されます。

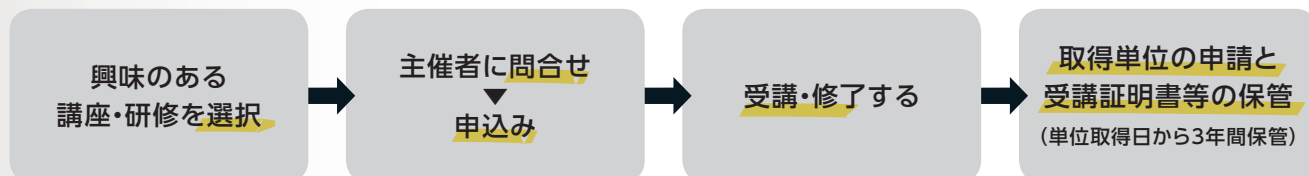
継続教育 研修 (セミナー)

継続教育研修(承認番号のある講座)の受講・修了で取得

『Myページ』の「ブロック・支部主催セミナー」又は「認定教育機関主催セミナー」で検索、若しくは『FPジャーナル』の「継続教育セミナー情報」で、受講したい研修を探すことができます。またメールアドレスを登録いただくとブロック・支部主催セミナーの開催案内がメールで配信されます。受講したい研修の主催者へ直接お申込みください。

CFP®試験対策講座の受講・修了で取得(CFP®認定者を除く)

『Myページ』の「CFP®試験対策講座」、若しくは『FPジャーナル』の「継続教育セミナー情報(CFP®試験対策講座の欄)」よりご確認ください、研修の主催者へ直接お申込みください。



費用・単位数・課目	研修・講座ごとに定められている
単位申請方法	『Myページ』から自己申請 又は、継続教育期限4カ月前に申請単位未達の方へ送付する継続教育単位取得申請書を使って自己申請(AFP認定者のみ) ※「ブロック・支部主催セミナー」は、自動記録につき申請不要。

スタディ・グループ (SG)

スタディ・グループ(SG)における勉強会参加で取得

協会が承認したスタディ・グループ(SG)による勉強会参加で単位を申請できます。

- ※「SGにおける勉強会」での継続教育有効単位数の上限は、AFP認定者は7.5単位まで、CFP®認定者は15単位までです。
- ※単位申請は自己申請です。
- ※単位取得の証明書類はSGでの勉強会を実施した日から3年間保管してください。



FP フェア

「FPフェア」の特別講演、エデュケーショナル・セッション等で取得

著名なエコノミストなどによる特別講演、各分野の専門家によるエデュケーショナル・セッション、FP実務家によるトークセッションなどの講演を受講すると単位が取得できます。



その他

その他、協会が認める研修(承認番号のない講座)の受講・修了や活動(講師・執筆)で取得

FPに関する講師や執筆、研修(承認番号のない講座)の受講・修了で単位が認められる場合があります。詳しくは日本FP協会ホームページをご確認ください。

- ※「講師」「執筆」での継続教育有効単位数の上限は、AFP認定者は7.5単位まで、CFP®認定者は15単位までです。
- ※単位申請は自己申請です。
- ※単位取得の証明書類は単位取得日から3年間保管してください。

FPジャーナル継続教育テスト

『Myページ』『FPジャーナル』のFP誌上講座を読み学習したうえで、FPジャーナル継続教育テストを解き、『Myページ』で解答してください。合格基準に達した場合、継続教育単位が付与されます。

問題掲載箇所	『Myページ』『FPジャーナル』内の「継続教育テスト」
受験の流れ	『Myページ』『FPジャーナル』の「FP誌上講座」を読み、学習する ↓ 『Myページ』での解答 『Myページ』内のクイックメニュー「継続教育テスト」から、当該のテスト問題を選択し、 「FP誌上講座」を確認しながら解答する ↓ その場で合否が判明し、合格の場合、自動的に日本FP協会に単位記録されます ※単位付与日は問題を解答し、合格した日。
テスト料	990円(税込)
単位数・課目・合格ライン	3単位・FP実務と倫理含む全課目・20問中10問以上の正解で合格 (注1)(注2)
出題内容	FP実務と倫理、金融資産運用設計、不動産運用設計、ライフプランニング・リタイアメントプランニング、リスクと保険、タックスプランニング、相続・事業承継設計 ※FP誌上講座で取り上げた内容に関する出題。応用問題も含まれている場合があります。
出題形式	20問。4肢択一のマルチプルチョイス方式
合否結果	採点実行ボタン後の「採点する」を押した後、その場で合否結果が表示されます
お支払方法	オンライン決済(クレジットカード等) ※支払い方法により、別途手数料が発生します。



(注1) AFP認定者は、FPジャーナル継続教育テスト1回の合格で「FP実務と倫理」の1単位以上の取得要件を満たします。(P9参照)

(注2) CFP®認定者は、FPジャーナル継続教育テスト2回の合格で「FP実務と倫理」の2単位以上の取得要件を満たします。(P16参照)

FP実務と倫理テスト

『Myページ』のFP実務と倫理Web講座を参照しながら、「FP実務と倫理テスト」を解き、解答を送信してください。合格基準に達した場合、継続教育単位が付与されます。

問題掲載箇所	『Myページ』内の「継続教育テスト」
受験の流れ	『Myページ』での解答 『Myページ』内のクイックメニュー「継続教育テスト」から、当該のテスト問題を選択し、 「FP実務と倫理Web講座」を参照しながら解答する ↓ その場で合否が判明し、合格の場合、自動的に日本FP協会に単位記録されます ※単位付与日は問題を解答し、合格した日。
テスト料	990円(税込)
単位数・課目・合格ライン	3単位・FP実務と倫理・20問中10問以上の正解で合格
出題内容	FP実務と倫理
出題形式	20問。4肢択一のマルチプルチョイス方式
合否結果	採点実行ボタン後の「採点する」を押した後、その場で合否結果が表示されます
お支払方法	オンライン決済(クレジットカード等) ※支払い方法により、別途手数料が発生します。



AFP資格更新の手続きについて

AFP認定者は入会年月から2年後の入会月末までの2年1カ月間を継続教育期間(更新後は2年間が継続教育期間)としており、その間に15単位の継続教育単位の取得が必要です。AFP資格更新手続きには単位の申請が必要です。単位の申請方法には、会員ホームページ『Myページ』での手続きと、継続教育単位取得申請書の郵送による手続きの2通りがあります(FPジャーナル継続教育テスト等の自動記録される単位については、単位申請は不要です)。

継続教育単位申請方法

『Myページ』からの手続き

継続教育単位を取得後、資格更新期限までに『Myページ』のクイックメニュー「単位申請」から申請してください。

※継続教育期間内であればいつでも申請できます。

「継続教育単位取得申請書」の郵送による手続き

継続教育期限4カ月前に申請単位未達の方に「継続教育単位取得申請書」が送付されます。ご自身で取得単位をご記入のうえ、郵送にて申請してください。

資格更新手続き

資格更新期限後に申請された継続教育単位を協会で確認します

申請内容に不備があった場合

※書類未着・資格更新要件の不備や長期の療養等の事態を考慮し、継続教育期間の終了日(更新期限)の2カ月後までは「不備解消期間」として資格更新手続きを行うことができます。

別途ご連絡いたしますので、所定の期限までに修正等をお願いいたします

AFP 資格更新要件を満たしていると協会が確認した場合

特段の手続きを行うことなく、資格更新手続きが完了します

※資格更新期限までに更新手続きが完了した場合には、更新期限の翌月末頃、新しいAFPライセンスカードを発送します。

資格更新にあたって、単位取得証明書類のご提出を依頼する場合があります

(FPジャーナル継続教育テスト等の単位が自動記録される場合を除く)

円滑で適正な資格更新手続きのために、毎月の更新者の中からランダム抽出した一部の方に、資格更新にあたり単位取得証明書類のご提出をお願いしております。ご提出の対象となった方は、『Myページ』からの単位申請だけでは資格更新手続きが完了しません。また、単位取得証明書類をご提出いただけなかった場合は、資格更新ができません。

単位取得証明書類は
単位取得日から
3年間保管して
ください。



資格更新手続きをしない場合

AFP資格は失効し、一般会員に移行となります。一般会員として、年会費はこれまでどおり発生します。CFP® 資格審査試験課目合格はすべて失効となります。

一般会員移行後、再認定要件を満たし、手続きをすることで、AFP資格の再認定が可能です(詳細は「PART7 AFP資格の再認定について」をご参照ください)。

※AFP資格が再認定となった場合でも、一度失効したCFP®資格審査試験合格(各単課目の合格含む)は復活しません。

退会される場合

所定の退会届の提出が必要です。

Myページより退会届を提出するか、協会から退会届を取り寄せ必要事項をご記入のうえ協会に郵送してください。

単位申請が必要／不必要な継続教育研修

申請が必要

以下の項目は、ご自身で単位の申請を行ってください。

- ☐ 認定教育機関主催の継続教育研修 (承認番号あり)
- ☐ スタディ・グループ (SG) における勉強会
- ☐ 承認番号のない講座・研修
- ☐ FPとして行った講師活動
- ☐ FPとして行った執筆活動

申請が不要

以下の項目はすべて自動記録されます。

- ☐ FPジャーナル継続教育テスト
- ☐ FP実務と倫理テスト
- ☐ 本部・ブロック・支部主催の継続教育研修会 (セミナー)
- ☐ FPフェアのエデュケーショナル・セッション等
- ☐ CFP® 資格審査試験の合格
- ☐ その他単位が協会に自動記録される研修

SG・講師・執筆は
有効単位数の上限が
あります。
(AFP認定者7.5単位まで)
※CFP®認定者は15単位まで



AFP資格継続教育単位取得のモデルケース

どのように単位を取得すればよいのか、またそれにかかる費用の例をAFP認定者2人のモデルでご紹介します。



インターネットと土日を使って取得！

山田 太郎さん A生命保険会社勤務

FP資格は仕事に必要なので取得しました。

金融機関にお勤めで平日時間を取るのが難しいため、日本FP協会のFPジャーナル継続教育テストをMyページから受験、土曜日や日曜日に行われる認定教育機関のセミナーから自身で興味のあるテーマのものを選んで参加、日本FP協会支部主催のセミナーにも参加して単位を取得しました。また、会社で行われた研修も継続教育に該当することから効率的に単位取得ができました。

受講日	継続教育の内容 (セミナー等)	主催団体	課目	取得単位	受講費用
20△△/10/3	●『FPジャーナル』の継続教育テストをMyページ受験	日本FP協会	全課目	3単位	990円
20△△/10/7	●どう変わる年金制度	〇〇FPセミナー	ライフ	3単位	5,500円
20△△/12/20	●『FPジャーナル』の継続教育テストをMyページ受験	日本FP協会	全課目	3単位	990円
20☆☆/1/11	●確定拠出年金の制度概要	A生命保険会社	ライフ	5単位	0円
20☆☆/1/27	●埼玉支部継続教育研修会「金融マーケットの読み方」	日本FP協会埼玉支部	金融	3単位	3,300円
合計				17単位	10,780円



平日の就業後とFPフェアで取得！

鈴木 花子さん 保育士

FP資格は実生活で活用しています。

仕事が休みで時間に余裕があるときは、スタディ・グループに参加してFP知識の吸収と情報収集をすることにしました。スタディ・グループは勉強会の内容によって継続教育に該当します。また、年に1度行われるFPフェアに参加しエデュケーショナル・セッションを受講、全国の会員とも交流を図り同時に単位も取得しました。東京支部の研修会にも参加してここでも会員交流を図りながら単位を取得しました。

受講日	継続教育の内容 (セミナー等)	主催団体	課目	取得単位	受講費用
20△△/5/9	●20△△年度税制改正の概要	〇〇FP研修所	タックス	3単位	3,300円
20△△/6/10	●スタディ・グループ「証券仲介制度の概要」	SG〇〇〇	金融	2.5単位	実費
20△△/7/15	●FPフェア20△△参加	日本FP協会	金融・不動産・FP実務と倫理	4.5単位	5,500円
20☆☆/1/13	●スタディ・グループ「長期投資の考え方」	SG〇〇〇	金融	2単位	実費
20☆☆/2/10	●東京支部継続教育研修会「FPのための確定申告知識」	日本FP協会 東京支部	タックス	3単位	3,300円
合計				15単位	12,100円 +実費